

都市再生整備計画 事後評価シート

下祇園駅周辺地区

令和7年3月

広島県広島市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	広島県		市町村名	広島市		地区名	下祇園駅周辺地区			面積		79.0ha			
交付期間	令和2年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	1666.4百万円		国費率	0.5					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】下祇園駅自由通路整備、西口アクセス道路整備、安佐南3区240号線改良												
		提案事業	－												
		事業名											削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
	当初計画から削除した事業	基幹事業	－				－				－				
		提案事業	－				－				－				
	新たに追加した事業	基幹事業	－				－				－				
		提案事業	－				－				－				
	交付期間の変更	当初	令和2年度～令和5年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		－								
		変更	令和2年度～令和6年度												
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期	
				基準年度		目標年度		モニタリング	評価値						
指標1		下祇園駅の乗降車人員	人	10,798人	H30	12,200人	R6		10,434人	×	あり なし	● ●	評価時点において整備完成していないことやコロナ禍による生活様式の変化があったことから目標値まで達成しなかったが、自由通路や東西新駅舎の完成により、駅利便性が向上した。今後、西口アクセス道路等の整備を進めていくことで更なる効果の発現が期待される。	R9年10月	
指標2		踏切歩行者・自転車交通量	人	12,016人	H28	4,400人	R6		7,188人	△	あり なし	● ●	自由通路や東西新駅舎の完成及び西口仮駐輪場の設置により、駅利用者が踏切横断を伴わず安全に駅利用出来ることとなり、踏切横断する歩行者自転車交通量が目標値まで減少しなかったが、一定の減少傾向を示した。今後、西口アクセス道路等の整備を進めていくことで駅南西部から駅への短絡ルートが完成した際には、目標値までの減少が見込まれる。	R9年10月	
指標3		可部線の東西を行き来する歩行者・自転車交通量	人	12,016人	H28	12,900人	R6		11,835人	×	あり なし	● ●	評価時点において整備完成していないことやコロナ禍による生活様式の変化があったことから目標値まで達成しなかったが、自由通路や東西新駅舎の完成により、駅周辺の回遊性が向上した。今後、西口アクセス道路等の整備を進めていくことで更なる効果の発現が期待される。	R9年10月	
3)その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況		指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期	
					基準年度		目標年度		モニタリング	評価値					
		その他の数値指標1	－		－					－			－	－	
		その他の数値指標2	－		－					－			－	－	
		その他の数値指標3	－		－					－			－	－	

4) 定性的な効果 発現状況	社会福祉協議会、周辺商業施設、周辺文教施設及び区役所が参加をするまちづくり勉強会が下祇園駅周辺事業を中心に活性化し、住民のまちづくりに対する機運の醸成がなされた。				
5) 実施過程の評価		実施内容	実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		-
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	官民連携による 取組	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		-
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	持続的なまちづくり 体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		-
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2-2 地区の概要

[illegible]